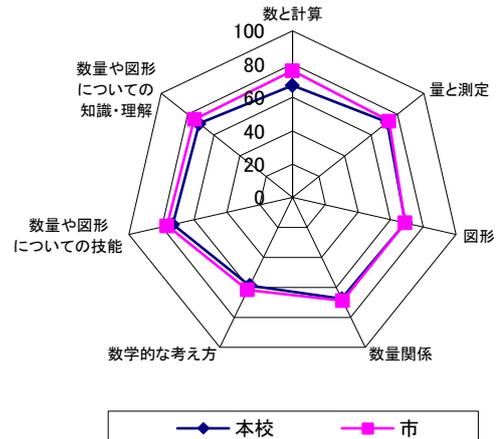


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	67.2	76.1	73.5
	量と測定	72.2	73.6	70.1
	図形	68.9	68.8	66.6
	数量関係	67.6	68.9	64.5
観点別	数学的な考え方	58.7	61.8	54.9
	数量や図形についての技能	73.1	76.7	73.2
	数量や図形についての知識・理解	71.1	75.0	73.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の平均正答率は67.2%であり、市の平均正答率を8.9ポイント下回っている。 ●整数を偶数と奇数に類別することや分数の除法への理解について、やや苦手な傾向が見られる。 ○図を使って、小数の除法の文章問題に合った式を選ぶ問題では、市の平均正答率を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数の性質や分数、小数の計算について改めて確認し、計算ドリルの問題や教科書の復習問題に繰り返し取り組めるよう支援していく。 ・個別指導を充実させることで学習理解度を高めていく。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の平均正答率は72.2%であり、市の平均正答率を1.4ポイント下回っている。 ○道のりとかかった時間から時速を求める問題や直方体を組み合わせた形の体積を求める問題では、市の平均正答率を上回っている。 ●混み具合や高さが図形の外にある平行四辺形の高さを選ぶ問題では、やや苦手な傾向が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位量あたりの大きさについて、一人あたりで比べる方法、1㎡あたりで比べる方法などの確認をし、学習内容の定着を図る。 ・いろいろな図形の面積を求める問題に取り組む機会を繰り返し設け、学習内容の定着を図る。 ・授業では、実際の生活と関連付けながら、課題解決ができるように工夫する。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の平均正答率は68.9%であり、市の平均正答率を0.1ポイント上回っている。 ○3辺の長さを使って、合同な三角形を作図する問題では、100%の正答率である。 ●円の面積を求める問題や六角形の内角の和を求める式を選ぶ問題では、市の平均正答率を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円の特性について再確認し、面積や円周を求める公式など多くの公式を時間をかけて整理していく機会を設定する。 ・多角形の性質について再確認し、習熟を図る。 ・定規やコンパス、分度器の正しい使い方を改めて復習し、使い方のさらに習熟を図る。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の平均正答率は67.6%であり、市の平均正答率を1.3ポイント下回っている。 ●比例や反比例の問題については、市の平均正答率を下回っている。 ○円グラフの読み取りの問題では、市の平均正答率を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比や割合については、デジタルコンテンツのアニメーションを活用したり、実際の生活と関連付けたりすることで、学習内容の定着を図っていく。 ・他教科の学習においてもグラフの指導を継続して行い、さらに習熟を図る。